

【就職】平成30年度卒業生合格体験記 ～先輩からのアドバイス～

(1)「就職に向けて」 (ビジネス会計科→トヨタ自動車株式会社)

私は、トヨタ自動車株式会社から内定をいただくことができました。1年生の時は将来の夢は決まっていなく、進学か就職かで迷っていました。私が進路について考え始めたのは2年生になってからです。私は、ビジネス会計科に所属していたので、初めは事務系の仕事に就こうと考えていました。しかし、私は簿記などがあまり得意ではなかったため他の職種を探していたところ製造の仕事に目を向けるようになりました。3年生になり進路指導室で製造業の仕事を探していたところ、初めは食品を扱う製造をやりたいと考えていました。しかしいろいろと資料を見ていくうちに自分には向いていなさそうと感じるようになり、他の製造業を探していたところ先生に今の企業を進めていただき、ホームページなどで調べていき、私は細かい作業をしたりするのが得意なのでそれを生かしてこの企業で働いてみたいと思いました。

試験を受けるにあたり進路指導室で受験報告書を見て試験に出やすい問題をSPIの問題集で繰り返し勉強しました。面接では企業のホームページを見てその会社の概要や理念などを調べ、先生方や友達などに練習に何度も付き合ってもらいアドバイスをしていただき頑張ってきました。面接のアドバイスとしてはホームページで企業のことを隅々まで調べるのが大切だと思います。試験当日はとても緊張しますが焦らず落ち着いて行動することが大切だと思います。面接も練習してきたことを焦らずゆっくりはきはきと話すことが大切だと思います。

進路が決まっている人は今自分がすべきことを考え、試験に向けての学習を計画的に進めていくことが大切だと思います。進路が決まっていない人は、友達や先生方など周りの人にたくさん相談して自分がやりたい仕事を見つけられるよう頑張ってください。あとは普段の学習にしっかりと取り組み、定期テストなどで少しでも良い点数を取っていけるよう努力していくことが大切です。また資格も結構有利になってくると思うし就職してからも生かせるものもあると思うので、頑張って取得していけるといいと思います。進路を決めていくのにあたり悩むことや大変なこともあると思うけど、後悔しないように何事にも努力していくことが大切だと思うし普段の生活から正していくことも大切だと思います。自分の進路実現のために後悔しないよう頑張ってください。

(2)「進路実現」 (総合学科→中部国際空港旅客サービス株式会社)

私は、中部国際空港旅客サービス株式会社を志望し、内定を頂きました。この企業に決めたのは、担任の先生に声をかけて頂いたことがきっかけです。

高校に入学した時は、進路が全く決まっていなくて、進学か就職かも迷っていました。2年生になって、就職することにしましたが、「どんな職に就きたいか」や「どこで働きたいか」は考えていませんでした。1年生の時から、テストや授業態度、提出物を期日までに出すことを頑張っていたので、ある程度の評定は取れていました。2年生後期に公務員を第1希望で考えていました。しかし、私は人と関わられる接客業に就きたいというのが本心でした。その時、就職公務員模試を受けて、結果が思うようにならず、公務員は私には無理だと諦めました。3年生になり、まわりのみんなが就職先や進学先を決めている中、私はまだ悩んでいました。色々な企業の求人票を見て考えました。先生に相談したところ、中部国際空港を勧められました。仕事内容は、お土産屋さんやショップの接客で、空港には様々な国や地域からお客様がみえ、より多くの方と関わることができ、知らない文化や言語にも触れられるのでこの企業にしよう決めました。試験に向けて頑張ったことは、面接練習です。面接では第一印象がと

でも大切です。面接会場に入る時の第一声、「失礼します」で良い印象を与えることを意識しました。面接の質問は、事前に考えていたことはあまり聞かれなかったため、臨機応変に答える力が必要です。リラックスして、明るく笑顔でハキハキと話すことも大切です。

私はたくさん悩んで結果的に自分の入りたい企業を見つけ、内定まで頂くことができました。就職は正直、評定が重要となってきます。評定が高いと企業の選択肢が広がります。地道に積み重ねていくことが本当に大切で、3年生になってからでは遅いので、今のうちから卒業後のことを考えて生活すべきです。社会人になるという自覚を持って、進路決定してください。

(3)「合格体験記」 (ビジネス会計科→林八百吉株式会社)

私は、林八百吉株式会社から内定をいただくことができました。

高校に入ってから最初は事務職ではなく製造職に就きたいと考えていました。ですが、2年生の夏の三者懇談で林八百吉の求人票を見たとき、そこに書いてある会社のスローガンを見て林八百吉で働いてみたいと考えるようになりました。

実際に3年生の夏に企業訪問に行ってみると、社員の方が生き生きと仕事をしていらっしゃることに憧れをもちました。また、益田清風の卒業生の方がいらっしゃって林八百吉はいい会社で暖かい会社とおっしゃっており、より働いてみたいと思いました。

就職試験では、まず面接で自己PRやこれから頑張っていきたいことを問われました。私は自己PRがすごく苦手でした。練習では何が得意なのかなかなか出てこなかったり、実際に話してみると自信が持てなかったりと、先生方に注意されることが何度かありました。ですが、紙にメリットとデメリットを書いてみると自信を持つことができ、本番でしっかりと話すことができました。これから頑張っていくことは、自分がどういう社会人になりたいか考え、そこからなりたい社会人になるためにはどうすればいいか考えました。

次に、一般常識や性格調査では就職試験まで毎日テキストを何回も解いていたことで、本番では自分の力を発揮することができました。

私は社会人にとって大切なことは、一般常識や言葉遣いをしっかりすることだと思いました。社会人にとって当たり前なことなので高校生のうちから身に付けておく必要があります。また、早くから勉強に取り組むことと、世間のニュースについて考えてみるのが進路につながるのです。

進路決定の時に後悔しないように頑張ってください。

(4)「努力次第」 (総合学科→株式会社サカイナゴヤ)

私は、株式会社サカイナゴヤを志望し、内定をいただきました。

高校2年生の時、私は就職すると決めました。それまでは、定期考査等本気で取り組もうとは思っていませんでした。その中、私は川崎重工業を先生に勧めてもらい挑戦をしてみようと思いました。それからは就職試験に向けて「一般常識&SPI対策ワーク」を何回も解き、自分で問題集を買って就職試験に向け取り組みました。また、面接も受け答えが完璧にできるよう、多くの先生にご指導をいただきました。しかし、1, 2年生の時の成績と筆記試験で少し解けないところがあり、内定をいただくことができませんでした。

そこで、次の進路を決める際、先生と相談しながら株式会社サカイナゴヤを受けることにしました。次こそは、内定をいただくことを目標に前回以上に努力をし、企業研究もしっかり行いました。その結果、スムーズに試験を終え、内定をいただくことができました。

私がこの経験を通し思った事は、高校の定期考査を一回一回真剣に取り組み、成績をよくすることです。また、就職試験に向け、筆記は一般常識が完璧になるまでやりきり、面接は面接官からどんな質問がきても大丈夫なようにしっかり企業研究をし、自分の強みを知ることが大切です。

就職を考えている人は、まだ先のことだと思わず、早い時期から準備しておくことをお勧めします。自分が希望している就職先に行けるように頑張ってください。

(5)「就職に向けて」 (経営情報科→名古屋鉄道株式会社)

私は、名古屋鉄道株式会社を志望し、内定をいただきました。私は高校入学時から大手企業に就職したいと考えていましたが、この企業に決めたのは三年生の春でした。大手企業なのでまずは成績を上げることを頑張りました。普段の授業やテスト前のテスト勉強を特に頑張りました。その結果テストの順位を大幅に上げることができました。

三年生からは、就職試験に向けて就職補習や自分でテキストを買い、自宅での学習を頑張りました。筆記試験に向けての対策として、問題を解いていく上で分からないことがたくさんありましたが、そのままにせず、先生や友達に聞くなどして克服していくとよいと思います。筆記の勉強では、計画を立ててやると効率よく進めることができます。試験本番で一番苦労したのが、クレペリンという適性検査でした。その対策も十分にしておくとうよいと思います。また、夏休みからは面接練習にも取り組みました。面接では、いろいろな質問をされるので、自分でどんな質問がされるかを予想し、その質問に対する答えをあらかじめ考えておくことが大切だと思います。志望理由は、必ず聞かれるので多すぎてもダメだし、少なすぎてもダメなので、まとまっていて面接官に伝わりやすい文を考えられるとうよいと思います。面接練習では、回数を多くこなすことで対応力が身につくので、数をこなすことが大事だと思います。企業研究を十分にしておくとう、企業のことについて聞かれたときなどにとても役に立ちます。

入社試験本番は、下呂からだとう前泊になります。しっかりと睡眠をとることとう、寝坊をしないようにしてください。試験当日は、時間に余裕を持ち早めに会場に行ってください。

試験は、本当に緊張するけれど、今までやってきたことを信じて悔いのないように頑張ってください。実際の試験は、温かい雰囲気とう他の高校の生徒たちとも話すことができたので、少し緊張が解けリラックスして受けることができました。面接の前も、一緒に待っている人たちとう話すことができたおかげで、あまり緊張せずに面接に向かうことができました。面接で言い間違えてしまうことがあっても、落ち着いて言い直すことが出来れば大丈夫なので、ミスしてもいいという気持ちぐらいが一番やりやすいと思います。みなさんも進路実現に向けて頑張ってください。しかし、受験会場では企業の方々に見られていますので、気を抜かず自分の行動には十分注意して下さい。

(6)「日々の積み重ね」 (総合学科→東海西濃運輸株式会社)

私は、西濃運輸株式会社から内定をいただきました。就職先について考え始めたのは、学校に求人票がきてからでした。それまではどんな仕事に就きたいか決まっていませんでした。

しかし、2年間学習してきた簿記や部活動でマネージャーをした経験を少しでも活かしたいと思い、会社を支えることのできる事務職を志望しました。

就職内容は面接のみでしたが、私は面接がとても苦手でした。そのため、放課後になると担当の先生に何を聞かれても答えられるようになるまで何度も練習をしました。また、担当の先生だけでなく他の先生にもお願いし、面接指導をしていただきました。面接練習では、志望動機や自己PR等、全て考えた文章を完璧に暗記していましたが、答える場面になるとうまく話すことができませんでした。そこで、

私は一つの質問の答えを単語でまとめるようにしました。志望動機では、会社を知ったきっかけ、どうして働きたいか、入社してから頑張ることをキーワードにして、答えられるようにしました。どんなことを話したらいいのかわからなくなってしまう時も、この考えたキーワードをつなげることで最後まで話しきることができるようになりました。話すことを忘れてしまうと焦ってどんどんわからなくなってしまうため、焦らずに落ち着いて話すことを心がけることで、自分の伝えたいことをしっかり伝えることができます。落ち着いて話すことを大切にしてください。さらに、笑顔で話すと印象がよくなります。常に笑顔で自信を持って最後まで話せるよう頑張ってください。

(7)「進路実現に向けて」 (総合学科→合同会社スマイル)

私は、合同会社スマイルに内定をいただきました。

私が初めて介護という仕事を知ったのは、小学校で施設見学に行った時です。職員の方は、どの利用者にも明るく接していました。私はそんな姿に憧れて介護士になりたいと思いました。

高校入学後は、総合学科の健康福祉系列を選択し、2年間介護について多くのことを学びました。3年生になり、介護の勉強が進むと、シーツ張りや着脱介護など介護技術を身につけていきました。慣れない頃は難しく感じ、諦めてしまいそうになりました。しかし、就職した時に、中途半端な技術では利用者に怪我をさせてしまう恐れもあるため、完璧にできるように努力しました。さらに、仲間と教え合う機会を設け、技術を高めていきました。また、座学でも難しいと感じることはありましたが、友人や先生に相談し解決していきました。こうした経験を通して、利用者の方が笑顔で過ごしていただくためのお手伝いをしたいと思い、介護現場で働きたいという思いが強くなりました。

介護士の求人票は数多くありましたが、資格サポートが充実している合同会社スマイルに決めました。また、会社見学へ行き、施設の清潔さや明るさ、職員の方々がお年寄りに優しく接している姿を見て魅力を感じ志望しました。

将来、私もお年寄りが笑顔で暮らせる手助けができる介護士を目指し、日々研鑽していきたいと思えます。みなさんも自分が希望する就職先に合格できるよう頑張ってください。

(8)「就職に向けての取り組み」 (経営情報科→関信用金庫)

三年生になり自分の就きたい職業がなかなか見つからず、去年の求人票を見て興味を持った企業を調べながら進路研究していた際、先生方にいろいろアドバイスをいただき、家から通える範囲で、商業科で学んだことを生かすことができ、地域との関わりも強い関信用金庫に就職したいと思ったことがきっかけです。

就職したい企業が決まってからは、進路指導室で卒業生の方の受験報告書などを参考に、就職試験に向けて調べ、自分なりにどうすればよいのか考え、就職試験までにすべきことの計画を立てました。

関信用金庫の就職試験は、面接と作文でした。面接では、何度も担当の先生の所に行き、試験直前まで面接練習をしていただきました。作文試験については、先生方に添削指導を何度もいただき、アドバイスをもとに何回も書き直して自分の納得いく作文に仕上げました。

私が、高校生活で進路実現のために努力してきたことは、部活と資格取得です。三年間卓球部に所属し練習に励んできました。また、いくつかの全商検定1級を取得することができました。これらの努力は履歴書にも書くことができ、面接の際にも自己PRとして話すことができるので、大きな武器となります。他にも面接では、学校で学習している内容や、その学科の特色ある取組みについて質問されるので、日頃からしっかり授業や活動をしておくことが大切です。また、自分の学科と他の学科との違いや

特色・特長を話せるようにしておく必要があります。

受験企業が決定してからは、計画的に受験勉強や面接練習などに取り組んでおかないと、就職試験の日はあつという間に来てしまいます。なるべく早い時期に、どんな勉強が必要なのか、どんな取り組みをしなければならぬのか、いつ何をするのかなど計画をしっかりと立て、準備を念入りにしておいた方がよいと思います。私も、もう少し早く取り組むべきだったと後悔しています。一日でも早く、進路実現のために取り組みを始めることが大切だと思います。また、定期テストでももっと頑張っておけばよかったと後悔していますので、1点でも高い点数を取れるように頑張ってください。

試験本番で自分の1番が出せることが大事だと思いますが、日頃の取り組みや生活の仕方、どれくらい自分に自信を持つことができるかで変わってくると思います。日々の生活から身だしなみをしっかりし、挨拶やマナーを身につけ、さまざまな知識を身につけておくために勉強に励み、進路実現ができるように頑張ってください。

(9)「就職に向けて」 (経営情報科→日本郵便株式会社東海支社)

私は、日本郵便から内定をいただきました。私は、経営情報科でパソコンや簿記などの専門的な勉強をしてきました。そのため、三年間で培った知識を生かすことができる仕事がしたいと思いました。先生や家族と相談したり、進路資料室に行き求人票や過去の先輩方の受験報告書を参考にしたりして、日本郵便を志望することにしました。

自分の行きたい企業が決まるまでは、あまり勉強をしていなかったのが成績は良くなかったのですが、行きたい企業が決まってからは、その企業から内定をいただくためには、まず評定を上げないといけないと思い、テストで良い成績を残すために集中して勉強に取り組みました。その結果、成績が上がり努力した分だけ結果はついてくることが分かりました。

勉強だけでなく、部活動や検定取得の為に力を入れて頑張ってきましたが、あまり良い結果を残す事ができず、もう少し早くから努力しておくべきだったと後悔しています。部活動の経験や資格取得は、これから社会に出る上で必ず役に立つと思います。高校生のうちに取得できるように、計画的に取り組んでください。

次に、入社試験に向けて特に頑張ったのは面接練習です。私は、人前で話すことがとても苦手で面接試験が上手くできるかとても心配でした。最初の面接練習では、与えられた質問に対して適切な内容で答えることができなかつたり、返答するまでに時間がかかってしまつたりするなど、不十分な面がたくさんありました。しかし、先生方からアドバイスをいただきながら何度も練習することで、質問に対する適切な答え方ができるようになり、落ち着いて面接に臨むことができました。終盤になると褒められることも増え、とても自信になりました。また、試験は面接だけでなく筆記試験もありましたので、先輩方の受験報告書を参考に勉強しました。

試験当日はとても緊張してしまいますが、大事な書類等を忘れてしまわないように事前に何度も確認しておくことが大切です。後は、試験会場までの行き方などを事前に調べておくこととスムーズに行くことができると思います。試験は知らない人ばかりで緊張すると思いますが、練習した通りにリラックスして臨めば大丈夫です。

まだ、行きたい企業が決まってない人や、何をしたいのか分からない人もいると思いますが、そんな人は、先生方や親などと相談したり、昨年の先輩方の受験報告書を参考にしたりして、本当にやりたい仕事を見つけてください。部活動や勉強などで忙しいかもしれませんが、日々の積み重ねが大事になりますので、これからの学校生活を大切に頑張ってお過ごしください。

(10) 「進路について」 (総合学科→ひだホテルプラザ)

私はひだホテルプラザに志望し、内定をいただきました。志望した理由は人と関わることが好きなので、接客の仕事がしたいと思ったからです。

就職試験に向けて取り組んだことは、進路指導室に行き、過去の先輩方の報告書を見たりしました。高卒でひだホテルプラザに行った人はいなかったなので、試験の内容や面接の質問で何が出るかわかりませんでした。しかし、他の企業の報告書を見て、とても参考になったので、報告書は見ておいた方が役に立つと思います。

また、面接練習では入室や受け答えなど普段から意識していないとできないことが多くあり、初めのうちはとても不安でした。でも、友達同士でアドバイスをし合って、先生に何度も頼み、練習を多くやってだんだん自信をもつことができました。面接の内容は、自己アピールや志望動機は必ず聞かれるので、自分の意思をしっかりと焦らず話すと思います。また、私は就職を決めたのが遅く、結構焦った時があったので、早いうちに求人票などを見て決める方がいいと思います。普段の生活や学習がとても大切になってくるので、一生懸命取り組んで自分の将来に向けてがんばってください。

(11) 「繰り返しと積み重ね」 (普通科→岐阜県職員)

私は1年生の時から公務員になることを志望していて、岐阜県職員に合格することができました。しかし1、2年生の時は、あまり現実味がなく、進路には無関心でした。3年生で進路の話も多くなり、やっと自分の中にも危機感が出てきて、進路について考えるようになりました。今考えれば、私は取り掛かりがとても遅かったです。進路実現に向け、先を見通し、早め早めに行動することが大事だと実感しました。

岐阜県の公務員試験は、1次と2次の試験があり、1次試験は筆記試験です。数的推理と判断推理という公務員試験特有の問題が出ます。専門学校の方が来てくださり、補習をしていただけますが、それだけでは足りません。自分でテキストを購入して、答えの理由がわかるまで、「繰り返し」問題を解いてください。また作文もあります。文章を書く力は、すぐには身につかないので、普段から文章を書くことをめんどろだと思わず、何度でも書いてください。

2次試験は面接です。面接は、勉強や部活、生徒会など自分が頑張ってきたことを、自信をもって堂々と話すことが大切です。あらかじめ、面接カードというものを書き、面接カードに書かれていることからほとんど聞かれるので、落ち着いて話せば大丈夫です。しかし面接は緊張します。冷静にと考えていても、思うように話すことはできません。だからこそ、普段から「積み重ねる」ことが大切です。面接ではごまかしはききません。面接官の方には、全て見抜かれてしまいます。面接の場でしっかりと自分をアピールするためには、普段から何事に対しても一生懸命取り組まなければならないと思います。そうすることで、自分の学校生活について、堂々と話すことができるのです。また、話し方も同じです。試験の直前だけ話し方に気を付けても、上手く話すことはできません。普段から言葉遣いに注意していれば、自然に正しい話し方が身につきます。また、個人的には、挨拶も非常に大切だと思います。この挨拶についても、普段しっかりできている人は何も問題ないので、普段の挨拶を心がけてください。試験で面接がある人は多いと思うので、日々の学校生活を大事にしていってください。

試験勉強をしていく中で、自分に力がついていないのか不安になる時もありましたが、繰り返し勉強することで、不安はなくなりました。また部活もあり、勉強と部活を両立することも大変でした。しかし、

部活をやっていたからこそ身についたことも多くありました。皆さんも自分が一生懸命になれる何かを持ってください。やるべきことをやれば、結果はついてきます。頑張ってください。

(12) 「幼い頃からの夢に向かって」 (普通科→岐阜県警察)

1次試験では学科と作文を行います。学科は、国数理英社のような知識と判断推理や数的処理、資料解析のような知能の問題が合わせて出題されます。知能の問題は学校の授業では習わない部分なので、私は高山で行われる公務員講座にほぼ毎回参加し、教材を買って特に力を入れて勉強するよう努力しました。また学校で公務員模試が行われますが間違えた所は確認をし、ひとつずつ理解しました。幅広い分野で出題される試験なので、出題数が多く、確実に差がつく知能に力を注ぐと点数に繋がって有利になると感じました。作文は1000字以内で書きます。採点者が見た時にまず字数が少ないと本気度を疑われると思われるので注意してください。1時間で1000字というのは簡単ではないので、対策として岐阜県警のテーマは毎年大きくは変化しないので過去に行われたテーマで作文をあらかじめ作っておくとスムーズに簡潔に伝えたいことを本番で書けるのでぜひ実践してみてください。

2次試験では体力試験や適性検査、そして合格を大きく左右する面接試験があります。体力試験や適性検査では大きな問題はないと思います。面接は準備段階として岐阜県警主催のセミナーに参加するといいです。私は7回程参加しました。採用担当者さんに顔を覚えてもらってやる気を感じてもらえますし、試験のポイントを教えてもらうこともできました。面接やセミナーなどに参加したことをアピールすることができるのかなり大きいと思います。いろんな先生に相手をしていただき、友達と繰り返し練習をして面接に慣れると臨機応変に対応できると思います。また、面接カードは先生に確認し、何回も書き直し、伝えるということを意識してください。字の大きさや丁寧さ、内容は大事になります。

岐阜県警の区分の男性の倍率はだいたい5倍と険しい道のりではありますが、本当に警察官になりたいという強い思いがあればきっと大丈夫だと思います。1次試験から2次試験の合格発表まではとても長くつらい時期ですが、警察官を目指している人は最後まで諦めることなく頑張ってください。応援しています。

(13) 「進路に向けて取り組んできたこと」 (ビジネス会計科→下呂市役所)

私はこのたび、地方公務員試験に合格し、下呂市役所に内定をいただきました。

私は進路については、「地元で貢献できることがしたい」という漠然とした思いしかありませんでした。そのため、就職ではなく、専門学校へ入学して卒業した後、地元に戻って職に就こうと考えていました。しかし、意思が変わり、就職に切り替え、先生方や親と相談したのちに下呂市役所に就職したいと思い、勉強を始めました。地元に残り公務員として勤めることが、何よりの貢献だと思ったからです。

私は進路の選択肢が狭くならないよう、部活動や勉学を怠らず、真摯に取り組んできました。特に部活動では練習が功を制し、大きな成績をいただくことができました。学校生活での行いは自身の自己PRを考える際にも役立つことだと思います。私は下呂市役所のみを志望しましたが、公務員を目指す方は第一希望だけでなく、第二希望、第三希望を考えておくことを勧めます。

公務員試験の勉強は一次試験と二次試験があります。私は試験日の三か月前から始めました。本音を言うと、非常に難しく困難でした。今振り返ってみると、三か月前に始めるのはとても遅かったと後悔してます。公務員試験の問題は非常に幅広く、普通科よりも不利でした。とにかく多くの問題を

解いて問題の傾向を研究しました。私は市販の問題集を使用して勉強しました。また、専門学校講師の方が行う公務員セミナーにも積極的に参加しました。その際に頂いた過去問集や解説集など、使えるものはすべて利用して勉強に励みました。その結果、幅広い傾向の問題も解けるようになりました。しかし、公務員試験はその他にも適性検査というものがあります。事務的な処理の速さと正確さを測るものです。これは練習しなければ結果は伸びません。私は苦手としていたので、毎日一回欠かさず練習しました。これほどまでの勉強量に諦めかけた時もありましたが、一度始めたことはやりきらなければならないと奮起し、机に向かいました。試験は時間内にいかに効率よく解くかが大切だと感じました。

二次試験では作文、集団討論、面接の三つです。特に面接では、自己PRと志望動機、学校生活で頑張ったことについて多く聞かれます。私は部活動についての質問が多くありました。面接に答えるときは落ち着いてゆっくりはっきり話すこと、大きな挨拶と返事が大事だと思います。作文と集団討論は過去の課題を調べ、実際に練習してみるべきです。

公務員試験は準備期間何をやるかが非常に重要です。公務員を目指す方は日々の準備を怠らず、さらに体調を崩さないよう規則正しい生活もしなければなりません。苦しいとは思いますが、達成感は大きいです。皆さんのそれぞれの進路が叶うよう応援しています。